

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

立: 1980年(昭和55年)1月10日
創会長: 松波 恒彦
幹事: 平野 好道
クラブ委員長: 大嶽 達郎
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋

事務局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL: http://www.mizuho-rc.jp/

奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

第1595回例会

~雑誌月間~
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2013年4月18日(木) 晴 第39回

司会: 堀慎治会場委員長
斉唱: 「我等の生業」

会長挨拶

松波恒彦会長

本日の卓話は会員の近藤雄亮さんに「私とロータリー」という題で卓話をして頂きます。宜しくお願い致します。今週月曜日に私と湯澤信雄さん、堀慎治さん、鈴木淑久さん、川本昌市さんの5名で12時30分からの福岡西RCに訪問させて頂きました。歴史があり、会員も多いクラブです。開会前に食事が始まり、和やかな雰囲気での始まりました。福岡西RCの会長さんは富永先生というお医者さんで、おじいさん、お父さんもガバナーの経験があり、ご本人もまだ50代前半で、近々ガバナーになりたいと意欲を持っています。当クラブは次々年度は近藤雄亮さんがガバナーになるということで、この間キックオフ大会を行いました。クラブ一丸となって進んでいかなければいけない年度になるので、皆様のご協力を宜しくお願いしたいと思います。



本日は少し変わった話題、鉄砲(猟銃、ライフル、銃)の話をして頂きます。日本で鉄砲を持つには免許が必要で、免許を取得する事は大変難しくなっています。警察は暴力事件で猟銃が使われると、鉄砲狩りをしようとします。鉄砲狩りは猟銃を使った犯罪があるとより厳しくなります。私の父はクレー射撃で世界選手権に4度いっており、鉄砲が沢山ありました。昔は左右二か所から出るスキートという競技、前方の一か所から出るトラップという競技がありましたが、今は様々な競技があるそうです。その鉄砲を持つには講習を受けなければならない、とても大変です。私も学生時代に免許を取得し、それから45年間持っていました。ただ、毎年警察で面談と検査があり、猟に行った場合は何発撃ってどうしたか、射撃場に行った場合にはそのスコアを持って来る、火薬はどのくらい使ったか等、とても厳しく面倒でした。そのため、私は今年度の6月13日の誕生日を持って鉄砲所持をやめようと思っております。日本では所持を放棄した鉄砲は、警察に返上して切断して廃棄します。私の父が世界選手権によく持っていった銃があります。その当時、建売住宅が一軒買ったほどのベレッタ(イタリア製)という高価な鉄砲ですが、現在売ると200万円ぐらいにしかありません。それを返上すると、廃棄されてしまうので、誰かに譲りたいのですが、最近では質の良い安い銃が沢山あり、なかなか買って頂けません。調べてみると、20万円程かかるのですが、その銃身に筒を詰め、器械部分に穴をあけ、動かないようにして壁掛けにすると、所持する事が可能という事がわかりました。父親が大切に使っていたので、来週辺り、持っていこうと思います。警察はそれだけ鉄砲狩りをしながら、若い方には銃の所持を辞めないでほしいと言っています。それは熊、猪、害獣を撃つハンターがいなくなってしまうからです。現在、害獣を撃ちに行くハンターは60代~80代の方です。変わった話題として鉄砲の話をして頂きました。有難うございました。

ニコボックス

松井文一郎ニコボックス委員

- ・4月28日は結婚記念日です。先日の家族会ではご参加ありがとうございました。 関谷 俊征さん
- ・4月15日は42歳の誕生日でした。カラオケ同好会に出席された皆さん、ありがとうございました。 近藤 茂弘さん
- ・4月25日に結婚40周年を迎えます。 高木 元明さん
- ・4月25日は結婚記念日です。 大嶽 達郎さん
- ・本日、私の卓話を聞いて頂きます。宜しくお願いします。 近藤 雄亮さん
- ・湯澤信雄さん、堀さん、川本さん、鈴木淑久さん、福岡西RCお疲れ様です。 松波 恒彦さん
- ・松波会長、福岡ではお世話になりました。また、昨日のゴルフ例会優勝してしまいました。山口さん、ごめんなさい。 堀 慎治さん
- ・欠席が続きました。両足の小指が治りますので、来月からゴルフが出来そうです。 遠山 堯郎さん
- ・本日は日柄も良く、設計させて頂いている友人の地鎮祭に参加して参りました。鈴木圓三さん、素敵な家族会の写真ありがとうございました。 鶴田 浩さん
- ・約3ヶ月間、休会を頂きましたが、本日より出席をさせて頂きます。宜しくお願いします。 加納 裕さん
- ・福岡西RCに訪問しました。色々勉強になりました。 鈴木 淑久さん
- ・いつもお世話になります。 梅村 昌孝さん
- ・4月14日、15日にJCじゃがいもクラブ西日本地区大会へ行ってきました。シニアの部で、なんとドラコン賞!米1斗をゲットしました。 高村 博三さん

幹事報告

平野好道幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて新旧CA・新旧理事会を行います。
- ・4月25日(木)ヒルトン名古屋4階「竹園の間」にてなごやか例会を行います。
- ・4月25日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第4回R情報・研修委員会(中堅会員研修会)を行います。
- ・新旧CAの配席表がメールBOXに入っています。

出席報告

鶴田浩出席委員

会員63名 出席44名 (出席計算人数47名)

出席率 86.2%

4月 7日は補填により 96.0%

委員会・同好会報告

ゴルフ部会 4月度例会(第340回)

開催日:4月17日(水)

コース名:愛知CC	グロス	HDCP	ネット
優勝 堀 慎治さん	76	0	76
2位 大嶽達郎さん	91	14	77
3位 鈴木淑久さん	86	9	77

次回、第341回5月度例会は、5月22日(水)スリーレイクスカントリークラブにて行います。

福岡西RC例会訪問



4月15日(月)に国内友好RCである福岡西RCに松波恒彦さん、堀慎治さん、鈴木淑久さん、川本昌市さんが訪問しました。

卓話

近藤雄亮さん

私とロータリー

私が32歳の時父が亡くなり、急遽社長を継ぐことになり、当時取締役工場長だった私は何をやって良いのか分かりませんでした。社内の管理職以上の人達は、当然私より経験も豊富で、年齢も上でした。お客様の購買担当・経営者、銀行の支店長さん達も年上でした。幸いお取引様には大変立派な経営者の方がおられ、人生の事、会社経営の事等、色々教えて頂きました。そして、社長になって約半年経った頃、RCへの入会の話がありました。私はRCについて知識が何も無かったので、ある人に相談をすると、「もし、どんな理由があろうと直ぐ退会をするなら初めから入会をしない方がいい。例えば退会をしたいという気持ちがあっても、一生懸命頑張るなら、きっと君の為になるよ」と言われ、入会する決断をしました。そして、1981年10月1日付で入会を許され、私のロータリー生活が始まりました。実は私の紹介者は大川嘉成さんで、ロータリーの例会日には、毎回大川さんが愛車のリンカーンコンチネンタルで会社まで迎えに来てくれ、例会会場まで乗せてくれました。また、例会が終わる時必ず会社まで送ってくれました。大川さんの都合がつかない時は、退会された宇佐美さんが必ず会社まで送ってくれました。それが2ヶ月ほど続き、それ以後は私も自立をし、例会場への往復は自分でする様になりました。時々その頃の事を思い出し、先輩達は新入会員の為に、早くロータリーや、先輩会員達に馴染むよう、気を使ってくれていたのだらうなと思い感謝しています。若干34歳の私にとって、当時名古屋財界で活躍されていた人達や、大川さんの様な創業社長の人達に囲まれ、はじめのうちは大変緊張したロータリー生活でした。しかし、そういう方々に委員会活動、懇親会、ゴルフ会等を通し、多くの事を学び自分の経営に活かした事は大変な喜びでした。

では、ロータリーの歴史と自分との関わりについて話をさせていただきます。入会した年、1981～1982年度は青木賢三会長、高村博三幹事で地区は愛知県・長野県合同のRI第260地区で、ガバナーは岡崎南RC所属の加藤直一郎さんでした。因みにこの時の名古屋瑞穂RCの会員数は54名でした。1987年2月11日台北延平RCとの姉妹提携が結ばれました。翌1987～1988年度には愛知県と長野県に地区が分かれ愛知県は新しくRI第276地区として半田RC所属の田中徹ガバナーのもとスタートしました。名古屋瑞穂RCの会長は江口金満さん、幹事は千田豊さんで会員数は77名でした。1991～1992年度は私が第13代クラブ幹事を務め、RI会長はラジェンドラ・K・サプー氏、RIテーマはLook Beyond Yourself(自分を越えた眼)で、ガバナーは名古屋中RC所属の加納泉さんでした。サプー氏は新世代に対して関心が高く、「ロータリークラブは最早RCの奉仕活動でのパートナーになり得る」と言っていました。この年度より愛知県はRI第276地区からRI第2760地区に変わり、現在に至っています。この時の名古屋瑞穂RCの会員数は94名でした。また、前年度の中村繁男ガバナーご指導のもとロータリーの基本が見直され、S.A.A.は会場監督ということで、S.A.A.委員会をなくし、幹事同様S.A.A.としました。幹事が会長の右腕としたらS.A.A.は会長の左腕であります。そして、代わりに会場委員会が発足したのがこの年度からでした。また、役員・理事の数も含めクラブ定款を見直したのもこの年度でした。1996～1997年度より会員野崎洋二さんの後を継ぎまして地区のロータリー(小)委員会に出向しました。その時のRI会長はルイス・ピセンテ・ジアイ氏でガバナーは半田RC所属の松本宏さんでした。1991～1992年度RI会長のサプー氏がロータリークラブの存在価値をロータリーのパートナーとして認めましたが、その意識を高揚したのがこのジアイ氏でした。そしてガバナーの松本宏さんはインターアクトクラブ、ロータリークラブの拡大を提唱する等新世代育成に力を注がれました。自分がクラブ幹事をした時のRI会長サプー氏がロータリークラブをロータリー

のパートナーとして認め、それを受けてRI会長ジアイ氏がそれを高揚し、時のガバナー松本宏さんがロータリーアクト等青少年活動に力を入れていこうという時に地区のロータリーアクト委員会に出向したのも何かの縁だったのかもかもしれません。その後、2001～2002年度には地区ロータリーアクト委員会の委員長を務めさせて頂きました。前任の委員長から前年の10月、急に「委員長に推薦したから」と言われ、慌ててロータリーアクトの年度計画や予算・決算を勉強し、マニュアルを作成した事を思い出します。2002～2003年度、第24代クラブ会長を務めました。その時のRI会長はタイの人で、ビチャイ・ラタクル氏でした。RIテーマはSow the Seeds of Love(慈愛の種を播きましょう)で、ガバナーは名古屋大須RC所属の岡部快圓さんでした。この年度私はビチャイ・ラタクル氏がどういう事に感動し、そしてロータリー活動を理解し熱心になっていったかを聞き、自分自身も大変感動したという記憶が鮮明に残っています。岡部ガバナーからは仏教の教えの中の「慈愛」の意味や、人への思いやりの心等、大変有意義な勉強をさせて頂きました。この年度高須幹事の進言もあり、北海道札幌手稲RC、九州福岡西RCとの交流を深めることができました。特に福岡西RCとは名古屋瑞穂RCゴルフ部会の協力もありゴルフ対抗戦を行うことができ、後の懇親会も含め大変盛り上がったという記憶です。また、新世代関連の大きな行事の一つである「ライラセミナー」をホストすることになり、会員の松井善則さんが地区のライラ委員長を務め、セミナーもガバナーはじめ多くの人達に参加して頂き成功裡に終えることができました。因みにその時のテーマは松井さんらしく『怖いおやじ、優しいお母さん』でした。2008～2009年度は西名古屋分地区のガバナー補佐を務めさせて頂きました。その時のRI会長は韓国の方のリー・ドンカンさんで、RIテーマはMake Dreams Real(夢をかたちに)でした。ガバナーは名古屋東南RC所属の片山主水さんでした。この時は自分の役目を果たす為にRI会長、ガバナーが何を言いたいのか自分なりに一生懸命理解をし、ガバナー補佐訪問に備えました。色々質問されましたが、自分の知識もさらに増え、知り合いも増えました。また、名古屋瑞穂RCの皆さんの協力を頂き、I.M.もしっかり出来、大変好評だった事が今でもはっきり記憶に残っています。入会以来ロータリーが色々変化していく中で、役を与えられ、それを実行していく中で、自分の見方・考え方等変えることができ、人生の生き方が随分違ったのではないかと、ふと思ったりします。少し大袈裟に言わせて頂きますと、ロータリーの格言であります「入りて学び、出でて奉仕せよ」を実践できたかなと思います。人間一生のうちに知り合いを増やすチャンスは色々ありますが、ロータリアンは奉仕の機会をとらえ、あるいは自分の趣味の世界で自分の意志さえあれば知り合いを増やす事が可能です。ロータリー活動の原点は確かに、各クラブの自主性・独立性を重んじることにあります。しかし、地区・ゾーン・RIの様に連携をとる事によって可能になる奉仕活動も多くあります。例えば財団の活動・米山の活動・新世代の活動等がそうではないかと思えます。財団の3種類の補助金(地区補助金・グローバル補助金・パッケージングラント)を使い地区内ばかりではなくゾーンを越え「世界で良いことをしよう」のモットーを実現していくこともしかり、米山奨学生による、より日本を深く理解してもらった活動しかり、先日報告しました、白馬RC主催の3地区合同青少年交換スキーの集いの様な新世代奉仕等はその例だと思えます。経験豊富な知り合いを既に沢山持つ方もいらっしゃると思いますが、私が経験し、感じた事をまだ知らない若者達が大勢いると思えます。ロータリーとは、そうした方々がロータリアンになり、多くの知り合いを作り多くの事を学び、自分の一生を振り返る時が来た時に「自分の人生に悔いは無かった」と思える為の人生の道場であって欲しいと思えます。いずれにしても、RCへ入会以来、ロータリーが色々変化していく中で、多くの役を与えられ、それを実行する事によって自分の見方・考え方等変える事ができたと思っています。そのようなチャンスを与えて下さった先輩ロータリアンの方々に大変感謝をしています。ロータリアンの皆様方に報恩感謝の気持ちを込めて私のロータリー活動での最後の最後の大役となるガバナー職を精一杯務め上げたいと思っていますので、是非叱咤激励の程宜しくお願い申し上げます。

例会のご案内

■今週の行事 4月 25日(木) なごやか例会

■5月2日(木) R規定により休業

■次々週卓話 5月 9日(木)

会員卓話：森恒夫さん

テ - マ：政權と税